

裾野市教育部指定管理者選定評価委員会
(裾野市民文化センター・裾野市民文化センター図書室)

審 査 報 告

令和5年12月21日

裾野市民文化センター、裾野市民文化センター図書室の令和6年度から令和8年度における指定管理者の候補者の選定にあたり、裾野市教育部指定管理者選定評価委員会（以下、「選定評価委員会」という。）は、申請者から提出された申請書類について審査を行った。

なお、当該期間における指定管理者の候補者の選定については、当該期間に裾野市民文化センター大ホールの復旧工事を予定していることから、裾野市公の施設に係る指定管理者の指定の手続き等に関する条例第5条第2項の規程に基づき、現に指定管理者に指定している団体を指定管理者の候補者として選定することとして事務を執行した。

1. 選定経過

日程	内容
12月14日（木）	申請書類受領
12月21日（木）	選定評価委員会開催

2. 審査方法

市の定める書式に従い指定管理者から提出された申請書類により、選定評価委員会として次期指定管理期間を任せ得るか審査を行った。

3. 審査結果

現に指定管理者に指定している団体である株式会社ケイミックスパブリックビジネスに施設の管理を継続して行わせることが適当であると判断し、指定管理者の候補者として選定した。

（総評）

- ・市内のNPOや企業など、様々な主体と連携して事業の幅を広げていることは評価できる
- ・利用者アンケートの結果からも指定管理者の努力がうかがえる。次期3年間も安定した運営を期待する
- ・図書室は幅広い年齢層に利用され、来館者が減っている中で貸出冊数を増やしていることは評価できる
- ・これまでも堅実な施設管理をさせていただいている。より一層市民目線を意識し、サービスの向上に努められたい
- ・施設利用に制約のある中ではあるが、ホール利用に限らないイベントの開催などにより文化芸術の振興に寄与されることを期待する
- ・限られた予算を最大限活かせるよう運営の工夫に努められたい